

問 焼き物工房に課題が山積する

答 陶芸クラブとの協議を行う



田中一孝

一般質問

田中 奥四万十博の体験メニューに参加が多いため課題があると聞く。その状況を執行部は認識しているか。

池田町長 陶芸体験希望者が多く、陶芸クラブの皆さんに苦勞をかけている。

戸田産業課長 申込者が急増して対応に追われている点など、行政と陶芸クラブとのコミュニケーション不足であった。後半に向けて協議を重ねたい。



焼き物工房

田中 施設ができて30年経過して修繕箇所が多く宿泊も出来ないという。聞かぬが。

池田町長 施設は平成14年の高知国体に合わせ改修をした経過がある。全体的な改修について課題が残っている。今後この施設の活用方法を議論し検討していく。

問 津野茶の現状は

答 茶工場整備で一定の効果

池田町長 本町の特産品であるお茶は、近年生産者が大きく減少。価格の下落、高齢化等が起因である。

田中 今回、両生産組合、そして両JAが合意して茶工場の整備となった結果、一定の効果が見えた。今後も両JAと生産組合と議論を行い支援していく。

戸田産業課長 津野茶の販売戦略については、平成27年度で一期目が終わった。平成28年度以降の販売戦略は現在作成している。

戸田産業課長 承葉塾は昭和62年に建築された。老朽化に伴う修繕も必要で今後、状況に応じて対応していく。ボイラーについては予算要望している。

問 承葉塾の施設が老朽化しているが

答 活用法を議論し改修の検討

田中

戸田産業課長

田中

葉山の茶工場が稼働停止し、生産者が減少するなどの問題がありはしないか。また生産者・JA・行政が連携しての取組みが必要ではないか。